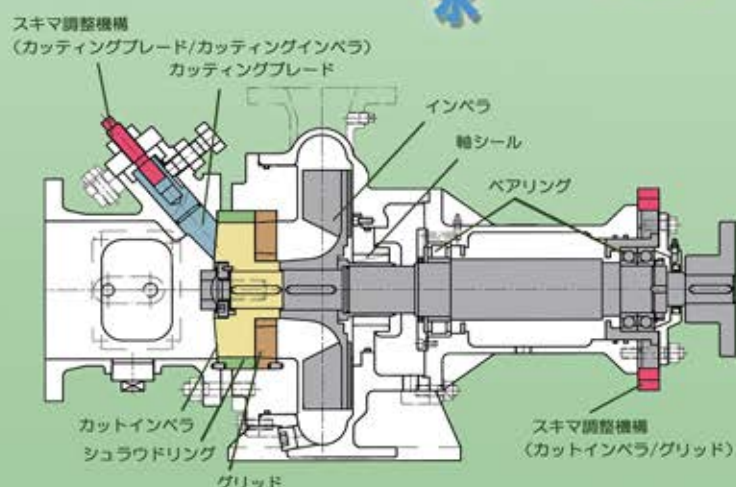


バイオガス用 〈メタン発酵促進〉

！！バイオガス発生促進に効果を発揮！！
20年以上の経験と、100台以上の実績

本機は液体中の固形物を細かく均一に破碎し、均質な固液混合体として輸送を行うことの出来る画期的な機能を持った湿式破碎ポンプです。その優れた破碎能力と酷使に耐える耐久性はバイオマス分野で高い評価と信頼を得ております。

特殊構造の破碎ポンプは現在に至るまで60年以上国産(Made in JAPAN)に拘った製品であり固形物破碎処理において欠く事の出来ない機械となっております。



破碎ポンプのパイオニア
ディスインテグレータ



破碎ポンプ ステンレス製シリーズ

QRコードを読み取るとYouTubeにて破碎ポンプ説明動画をご覧頂けます

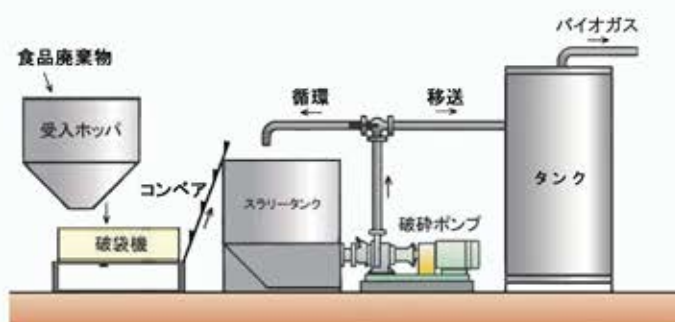


- ・ バイオマス
- ・ その他

バイオマスには
20年以上の経験と
100件以上の実績があります。



食品廃棄物バイオガス化プラント



- 客 先：食品廃棄物処理工場
 目 的：バイオガス発生促進
 方 法：スラリータンクに破砕ポンプを設置し
 食品廃棄物を破砕移送する。
 効 果：①発酵が促進されメタンガスの発生効率が
 向上。
 ②均質化された事により管路内の閉塞防止や
 タンク内の残留、分離が抑えられた。

破砕ポンプの歴史

1959年(S34) : 小松製作所とSULZER-BROTHERS社(スイス)と技術提携	2008年(H20) : 水中破砕ポンプZDS100-7.5型の販売を開始
1971年(S46) : 小松部品(後のコマツゼノア厚木工場)に生産販売移管	: 汚泥移送ポンプBSZ/PSZ型の販売を開始
1978年(S53) : コマツゼノア立川工場に生産販売移管	2014年(H26) : KD125、KD150、KD200型用の高効率加圧羽根車の開発
1985年(S60) : スルーザ社と技術提携契約締結	2015年(H27) : 新型立型破砕ポンプKDVA125、KDVA150型を開発
1988年(S63) : 新型破砕ポンプKD125、KD150、KD200型の開発	2017年(H29) : 新型破砕ポンプKDA300型を開発
1991年(H3) : 産業用破砕ポンプKD200MS型を開発	2018年(H30) : 産業用破砕ポンプKDA300MS型を開発
1994年(H6) : 産業用小型破砕ポンプKD50MS型を開発	2019年(R1) : 新型破砕ポンプKDA125、KDA150、KDA200型を開発
1998年(H10) : 産業用高揚程小型破砕ポンプKD80MSを開発	2021年(R3) : ハスクバーナ・ゼノア㈱分社化に伴いゼノア環境装置㈱として発足
2000年(H12) : 工場移転に伴い川越工場で生産開始	2024年(R6) : 産業用破砕ポンプKDA125MS型を開発
2002年(H14) : 立型破砕ポンプKDV150型を開発	2025年(R7) : 株式会社クラポテックに社名変更
2007年(H19) : コマツゼノア分社化に伴い㈱ゼノア ポンプ事業部として発足	同時に新社屋【本社(埼玉県狭山市)・工場(埼玉県越ヶ島市)へ移転
: 同年12月にハスクバーナ・ゼノア㈱へ社名変更	

●単位は国際単位系によるSI単位。●本機は改良の為、予告なく仕様変更する事がありますので予めご了承ください。●掲載写真は一部販売機と異なる場合があります。
 ●本機をご利用される際の注意事項は取扱説明書をご覧ください。●記載内容は2025年5月現在のものです。

